

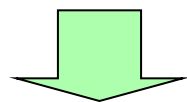
# 滝川市中心市街地活性化基本計画 (計画期間 20年3月～25年3月)

## 【中心市街地を巡る状況】

○隣接する赤平市、歌志内市等での相次ぐ炭坑閉山(～H7)による経済基盤の喪失

○工業団地・流通団地の積極的な造成(S55～)により、騒音・振動が敬遠された自動車修理工場・製造工場等が郊外移転

○郊外大型店の立地により、集客力が高かった中心市街地の書店や玩具店、大型店等撤退



## コミュニティ崩壊の危機

○歩行者通行量(平日)

H9: 16,057人 → H19: 7,008人(△56%)

○空き店舗数

H14: 25件 → H19: 38件

○居住人口

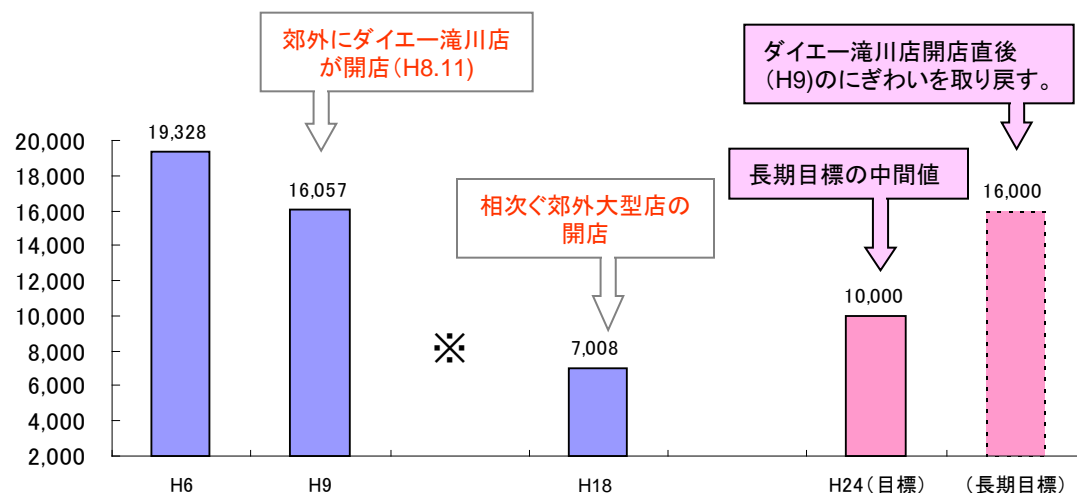
H10: 3,198人 → H19: 2,660人(△17%)

## 【目標】

目標	指標	現況値	目標値(H24)
賑わい創出	歩行者・自転車通行量(平日)	7,008人(H18)	10,000人
	空き店舗数	38(H19)	30
市民活動の活性化	コミュニティ施設利用者数	64,773人(H18)	112,000人
まちなか居住の促進	居住人口	2,660人(H18)	2,800人

(歩行者・自転車通行量の動向と数値目標)

\* 5～10月の平日に定点調査



※H10～H18: 再開発事業等のハード整備のみ注力していたこと、フォローアップを怠っていたため、未調査。反省を踏まえ、今後は毎年調査予定

炭坑閉山等によるコミュニティ崩壊の危機を脱するため、図書館のまちなか移転や市民団体と商店街連携によるコミュニティ再生の試み等により、一定水準の暮らしを維持しつつ、賑わいの回復を目指す。

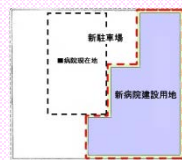
# 滝川市中心市街地活性化基本計画の事業概要

## 安心と憩いの提供

○中心市街地外にある図書館を市役所庁舎2階に移転し、開架図書の拡大等により、利便性の向上を図る。



○地域の基幹病院である市立病院の建て替えを実施し、訪問看護のスタッフ充実等を図るとともに、隣接地に新棟を建設し、旧棟跡地には駐車場(収容台数約2倍)を建設。



## まちなか居住推進

○市役所内にワンストップ総合窓口を設置し、空き家情報の提供や建て替え・リフォーム相談等を実施。  
○高齢者向け、バリアフリー仕様の市営住宅を20戸建設。

## コミュニティ再生による暮らしの快適性向上・賑わいの回復

### NPO・消費者協会

○デパートの空きスペースを拠点に、リサイクルしたリヤカーにて地場産品等を移動販売する「りやかあさん」の台数増や平日複数回に活動を拡大予定。



○市内の子育てサークル等が交流できる親子ひろば(H18利用者約9,500人)で平日活発に人形劇等のサークル活動を拡大し、近隣市町村からの勧誘を実施。



○國學院短期大学と連携して、市民向けのオープンカレッジをH19より平日週定期的実施し、今後も拡充予定。



○歴史的石造り倉庫を拠点に市民参加型のアートイベントの実施のほか、デザイン力をいかしたスイーツ等の地域ブランドの創出を図る。



### 連携

### 商店街

○旧美容室を活用して地元の学生が参加してメニューを作成した若者向けコミュニティカフェの設置や、郊外にある託児所を2Fに誘致。

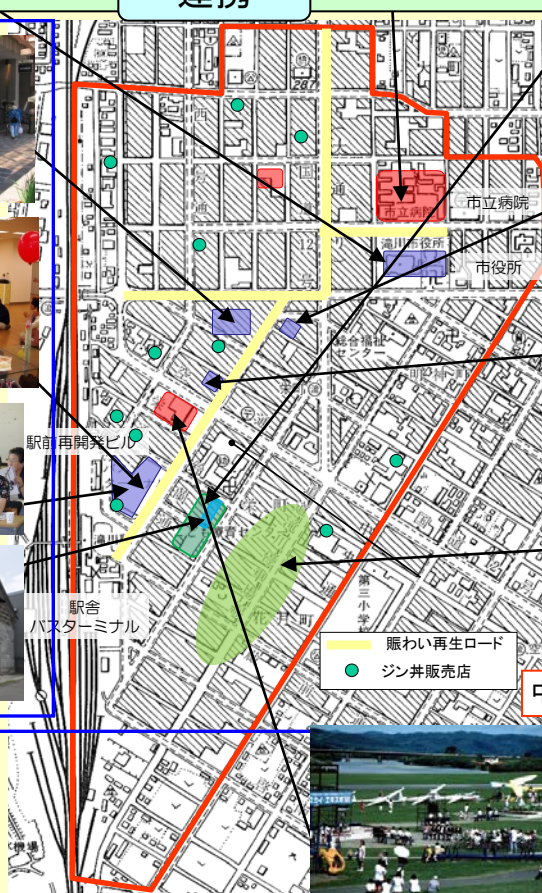


○旧衣料店を活用して、ラジオ体操参加者や高齢者マンション住民をターゲットとした地元農産物を活用した朝食の提供や休憩所を設置。

○味付けジンギスカン発祥の地として、滝川名物「ジン井」を更に普及PR。



○高齢者マンションの住民をターゲットとした個店の送迎サービスやドリンク無料券の配布。



中心市街地 : 92.5ha

### 市

○商店街から割引サービス等が受けられる「子育て応援パスポート」を発行。

○空き店舗を活用して滝川市の美しい自然や風物、イベントなどを市内で唯一リアルタイムで放映予定、情報発信を備えた多目的交流スペースを設置(年中無休)。

